

医療法人志匠会

品川志匠会病院

医療法人志匠会

新横浜スパイニングクリニック

手術数でわかる

いい病院

2016

週刊朝日MOOK

高度化が進む脊椎脊髄疾患治療



日本でも導入施設がまだ少ない、立位でのMRI撮影が可能な機器（Gスキャン）や、脊椎の変形を正面・側面から同時に全身撮影できるX線装置（EOSイメージングシステム）



大田快児理事長（右）と共に脊椎手術を行う新横浜スパインクリニックの葛西直亮院長（左）

■症例別手術件数（2015年1～12月）

部位	疾患名	品川	新横浜	両院計
頸椎	椎間板ヘルニア	39	20	59
	脊柱管狭窄症	213	68	281
	後縦靭帯骨化症	78	23	101
	その他	20	3	23
	頸椎手術 小計	350	114	464
腰椎	黄色靭帯骨化症	15	8	23
	椎間板ヘルニア	82	30	112
	脊柱管狭窄症(変性すべり症含む)	495	325	820
	分離(すべり)症	22	16	38
	高齢者側弯症・後弯症	66	15	81
	椎体骨折(圧迫骨折)	50	35	85
	その他	37	0	37
腰椎・腰椎手術 小計	767	429	1,196	
合計	1,117	543	1,660	

品川志匠会病棟の件数を「品川」の項目、新横浜スパインクリニックの件数を「新横浜」の項目に記載

医療法人志匠会 品川志匠会病院

受付時間：8:00～12:00/14:00～17:00
 診療時間：9:00～/15:00～
 休診日：日・祝
 〒140-0001
 東京都品川区北品川1-29-7
 TEL.03-5781-0700 FAX.03-5781-0828
 北品川駅より徒歩5分、品川駅よりタクシー5分

医療法人志匠会 新横浜スパインクリニック

受付時間：8:00～12:00/14:00～17:00
 診療時間：9:00～/15:00～
 休診日：日・祝・月午後・水午後・金午後
 〒223-0059
 神奈川県横浜市港北区北新横浜1-5-5
 TEL.045-533-5401 FAX.045-533-5403
 北新横浜駅より徒歩3分、新横浜駅よりタクシー5分

脊椎疾患の治療に特化した 安全性の高さを追求

医療法人志匠会は、脊椎疾患の治療に特化した病院グループであり、神奈川県横浜市の「新横浜スパインクリニック」と東京都品川区の「品川志匠会病院」の2院で脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニア、すべり症、変性側弯症、圧迫骨折などのよく見られる疾患から、難病として指定されている後縦靭帯骨化症（OPLL）や黄色靭帯骨化症（OYL）まで、幅広い治療を提供。患者も全国各地から訪れ、グループ2院の脊椎手術件数は年間1,660件、累計7,664件（2005年6月～15年12月）になっているという。

各症例に対し、日本でまだ導入施設

脊椎疾患治療に特化した 志匠会グループ

<http://shinyoko-spine.jp/>

志匠会

検索

7000件以上の実績で 培われた高い技術で 最新の脊椎疾患治療を実践

が少ない最新の画像診断装置も駆使して原因をつきとめた上で、オーダーメイドの治療の提供によって早期退院を目指していく。特に患者数の多い腰部脊柱管狭窄症の場合であれば、圧迫を取り除く除圧術なら5日程度、骨を固定する固定術でも10～14日程度での退院が十分可能だ。また、手術の際には皮膚の小切開だけでなく、確実な手技と安全性も重視してきた。それが、手術中の手技が原因で恒久的に歩行が困難になるような事態の防止にも繋がっているという。

「X-LIF」のような 最新の術式も導入

同グループでは、より質の高い治療や早期復帰を目指し、積極的に最新

の術式も導入してきた。例えば、5ミリ程度の切開で圧迫骨折を治療できる「BKP」も早くから取り入れて数多く実施している。最近では、まだ実施施設が限られている「X-LIF」も開始した。側弯症や脊柱管狭窄症に対して体の側面から行う術式で、背中筋肉や神経の損傷を抑えられると共に、大きい固定具が使えて脊椎の安定性も高まるという。

このように、最新の診断・治療を取り入れて、質の高さを追求するのも、患者の希望に沿うことを何よりも大切に行っているからだ。「患者さんとは同じ目標を持ち、共に病と戦う同志だと考えています」と、大田快児理事長は患者との信頼の上での治療を実践し続けている。

構成／鈴木健太